

**令和4年度進捗評価シート**  
**大洲市歴史的風致維持向上計画（第2期）**  
(令和4年3月22日認定)

**□ 進捗評価シート(様式1)**

① 組織体制(様式1-1)

1 「計画推進協議会(法定)」、「庁内推進会議」及び「担当者会」の開催	1
-------------------------------------	---

② 重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 景観計画の活用	2
-----------	---

③ 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 城山公園整備事業	3
2 無電柱化事業	4
3 民間建築物ファサード整備費補助事業	5
4 歴史的風致形成建造物保存対策事業	6
5 古民家再生モデル事業	7
6 郷土芸能保存会補助金事業	8

④ 文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 文化財の修理、防災について	9
2 文化財の保存及び活用の普及・啓発	10
3 重点区域内での埋蔵文化財の取り扱いの強化	11
4 文化財の保存又は活用に関わっている住民、NPO法人、各種団体等の活動について	12

⑤ 効果・影響等に関する報道(様式1-5)

1 城と桜 ゆったり水郷大洲市観光協 肱川で遊覧船 3日から「臥龍の渡し」も ほか	13
---	----

⑥ その他(効果等)(様式1-6)

1 「大洲市歴史的風致維持向上計画(第2期)」掲載事業の進捗状況	14
2 官民連携で取り組んだ古民家改修事業に対する外部評価	15

**□ 法定協議会等におけるコメントシート(様式2)**

16
----

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
「計画推進協議会(法定)」、「庁内推進会議」及び「担当者会」の開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 本計画の推進にあたっては、文化財保護担当部局の文化スポーツ課、まちづくり担当部局の都市整備課及び観光まちづくり課を事務局とした大洲市歴史的風致維持向上計画庁内推進会議を設置するとともに、歴史まちづくり法第11条の規定に基づく「大洲市歴史的風致維持向上計画推進協議会」において計画の推進や変更等の協議、調整、連絡を行い、本計画の事業を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

庁内で組織する「大洲市歴史的風致維持向上計画庁内推進会議」を令和4年5月24日、令和5年3月17日の2回開催し、今年度実施する事業の情報共有を図り、その進捗評価と次年度実施予定事業の課題等の検討を行った。  
 また、「大洲市歴史的風致維持向上計画推進協議会(法定協議会)」を令和5年3月24日に開催し、今年度実施事業の進捗評価を行った。  
 更に、適宜、担当者会を実施し、部局間の情報共有を図るとともに事業の円滑な推進に向けて協議調整を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史まちづくりに関する情報や全国認定都市の取り組み等の情報収集を行い、事務局内だけでなく全庁的に情報共有を図ることにより職員の意識の高揚を促し、市政への反映を図って行く必要がある。

状況を示す写真や資料等

■大洲市歴史的風致維持向上計画推進協議会  
(法定協議会)

○開催日  
令和5年3月24日

- 議事
- ①計画の進捗評価について
  - ②令和5年度事業計画について
  - ③歴史的風致形成建造物の指定について



大洲市歴史的風致維持向上計画推進協議会  
(令和5年3月24日)

■大洲市歴史的風致維持向上計画庁内推進会議

○第1回開催日  
令和4年5月24日

- 議事
- ①令和4年度事業計画について
  - ②現地視察

○第2回開催日  
令和5年3月17日

- 議事
- ①計画の進捗評価について
  - ②令和5年度事業計画について
  - ③歴史的風致形成建造物の指定について



大洲市歴史的風致維持向上計画庁内推進会議  
(令和4年5月24日)

■担当者会

○開催日 6月、10月、12月、3月  
 ○議事 事業推進について  
 歴まちカードの作成について 等

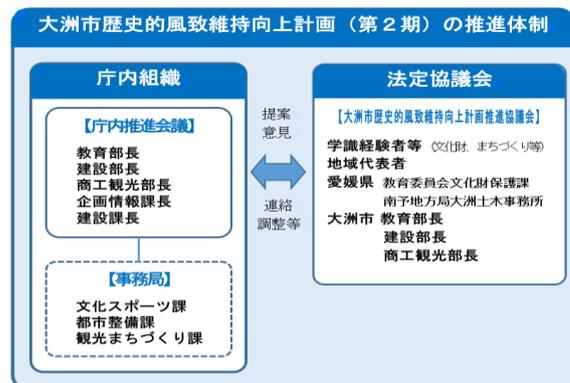
■その他

令和4年度 全国認定都市担当者会議(徳島県三好市)

○開催日 令和4年10月28日  
 ○事例発表 「歴史的資源を活用した持続可能なまちづくり」

四国地区認定都市担当者打合せ会(Web)

○開催日 令和5年1月13日  
 ○議事 歴まちカードの作成について



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
景観計画の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

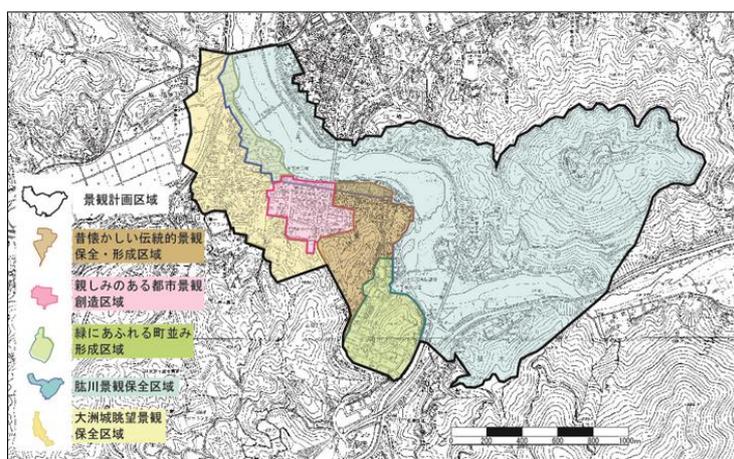
計画に記載している内容 景観計画区域内を、5種類の区域に細分化し、それぞれの区域で建築物や工作物の新築・増築・改築、屋外広告物の設置等について、方針を設け適正な規制を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観計画区域内の良好な景観形成を図るため、平成21年に施行した大洲市景観条例に基づき、建築物や工作物の新築等、屋外広告物の設置などに対して適正な指導を行った。  
 ・令和4年度届出件数：35件(昨年比4件減)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	当面の間は、昔から佇む建物を少しでも残していく施策を講じなければならない。しかし、建築物の新築等により、昔からの古い町並みが消えつつある。肱南地区の歴史的町並みの保存調査を行い、復元図等の作成により昔の町家の形から大洲らしさが見えてきた。今後は、この調査結果を踏まえ更なる景観形成に努める必要がある。

状況を示す写真や資料等



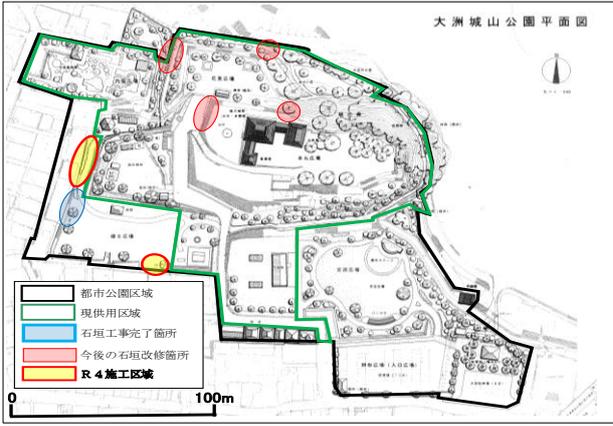
- 昔懐かしい伝統的景観保全・形成区域  
・令和4年度届出件数：14件
  - 親しみのある都市景観創造区域  
・令和4年度届出件数：12件
  - 緑にあふれる町並み形成区域  
・令和4年度届出件数：1件
  - 肱川景観保全区域  
・令和4年度届出件数：8件
  - 大洲城眺望景観保全区域  
・令和4年度届出件数：6件
- ※上記の内、重複区域 6件

景観行為等に係る規制一覧表

	建築物						工作物				
	屋根	付属施設	壁面線	高さ	色彩	素材	塀・門扉	その他	自動販売機	案内板サイン	屋外広告物
昔懐かしい伝統的景観保全・形成区域	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
親しみのある都市景観創造区域	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○
緑にあふれる町並み形成区域	-	○	○	○	○	-	○	-	-	-	○
肱川景観保全区域	○	○	-	○	○	-	-	○	-	○ 光源含む	○
大洲城眺望景観保全区域	-	-	-	○	△	-	-	○	-	○	○
	○: 規制有り			△: 部分規制有り			-: 規制なし				

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
城山公園整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～令和13年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市公園等事業)		
計画に記載している内容	城山公園内の崩壊の危険性が高い石垣を、伝統工法(空石積み)で改修を行うとともに、石垣に悪影響を与えている樹木や大洲城跡の眺望景観を害している樹木の伐採・移植・新植などの適切な処置を行う。また、事業認可区域を拡大し、公園内施設跡地の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
石垣保存修復委員の指導のもと、石垣A-2箇所(L=30m、SL=1m)の積直し工事と石垣B箇所の3次元レーザー測量、発掘調査(A=60㎡)を実施した。 また、「城山公園植栽整備計画」の更新に向け、第1回城山公園植栽整備計画(第2期)検討委員会を令和5年2月7日に開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	発掘調査により、文化財的価値を保存、向上しつつ、来訪者の安全性を図ることができたが、多額の費用と時間を要することとなる。 したがって、当初の事業計画期間を超過しているが、事業認可期間を延長して施行中であり、今後も公園の供用をしながら、石垣改修、広場整備、植栽整備を継続していく。		
状況を示す写真や資料等			
 <p>大洲都市計画公園「城山公園」平面図</p>		 <p>石垣保存修復委員会の様子 (令和4年9月22日)</p>	
 <p>石垣保存修復委員から指導を受けながら石垣を積み直している様子(令和5年2月15日)</p>		 <p>植栽整備計画検討委員会の現地調査の様子 (令和5年2月7日)</p>	

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
		項目	現在の状況
無電柱化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～令和13年度

支援事業名 都市構造再編集中支援事業  
市単独事業

計画に記載している内容 重点区域内の歴史的町並みを有する肱南地区において、無電柱化を推進することにより、歴史、文化が織りなす美しい景観や大洲城の眺望等の向上と、住民や来訪者の安全を確保する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市道大洲城山線(L=90m)を、電線共同溝を整備すべき路線に指定した(電線共同溝の整備等に関する特別措置法第3条)。また、電気通信事業者との現地協議の上、実施設計業務に着手した。  
事業全体延長：L=150m

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

当該電柱には多数の電気通信事業者が架線している為、設計段階から電気通信線移設段階まで、密に協議し連携する必要がある。

状況を示す写真や資料等



事業位置図



電気通信事業者との現地協議の様子  
(令和4年4月13日)



地下埋設予定電線①



地下埋設予定電線②

**評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
民間建築物ファサード整備費補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和13年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 景観計画区域内における「昔懐かしい伝統的景観保全・形成区域」で行われる、建築物の外観の改修・新築等に対し、補助金の交付を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年10月に制定した「大洲市景観形成推進事業費補助金交付要綱(平成25年7月1日一部改正)」に基づき、景観条例の規制に伴い増加する建築コストに対し補助金を交付するための予算措置をしたが、今年度は補助の申請がなかった。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

現代の車社会により、建築物を新築される際、建築物を後退し道路側へ車庫を設けるケースが多く見受けられる。壁面線の構築により良好な景観整備ができていると考えるが、今後、事前協議において、精度の高い設計を求めていくこととする。

状況を示す写真や資料等

補助実績 (単位:円)

項目	件数		補助対象事業費	補助金額
		内、新築件数		
屋根	0	0	0	0
外壁	0	0	0	0
建具	0	0	0	0
壁面線構築	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
計	0	0	0	0

申請なし

整備補助率等

項目	補助対象経費	補助率	限度額
屋根	(新・増・改築、修理いずれとも) 和瓦を使用、設置するために要した費用のうち、構造材を含まない額	1/2	
外壁	(新・増・改築、修理いずれとも) 外観に自然素材を使用、設置するために要した費用のうち、構造材を含まない額	1/2	合計金額において 1,500千円
建具	(新・増・改築、修理いずれとも) 木製建具を使用、設置するために要した費用に相当する額	1/2	
壁面線の構築	(新・増のみ) 前面駐車場の隠蔽等景観形成基準に基づき壁面線を新設あるいは増設する必要があるが生じた場合、自然素材を用いた壁面線の新設等に要した経費	2/3	400千円
その他	上記以外の修景事業に要する経費で、自然素材を用いて実施するものうち、事前協議及び審議会の審議において必要と判断されたもの(金属製建具の隠蔽のための木製格子の設置に要した経費等)	1/2	250千円

**評価軸③-4  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

		評価対象年度	令和4年度
		項目	現在の状況
歴史的風致形成建造物保存対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和4年度～令和13年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)  
市単独事業

計画に記載している内容 重点区域内で歴史的風致形成建造物に指定した建造物について、地域の歴史的風致を維持するために必要な修繕、修復費等に対して補助を行う。  
また、伝統的建築技術講習会の開催等、建造物の持つ「大洲らしさ」を保存した修復技術の習得を推進し、技術者の育成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新規補助制度「大洲市歴史的風致形成建造物保存対策事業費補助金」を創設し、歴史的風致形成建造物の指定を推進し、当該建造物の保全、歴史的建築技術者の育成及び住民意識の高揚を図るための基盤を整えた。  
また、2期計画の初年度に、指定候補63件の内、21件を歴史的風致形成建造物に指定した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

当補助制度の周知を図るとともに、本市固有の歴史的風致に対する住民の関心を高め、住民主動により歴史的町並みが保存されていくように導かなければならない。

状況を示す写真や資料等

○「大洲市歴史的風致形成建造物保存対策事業費補助金交付要綱」策定

【ハード対策】歴史的風致形成建造物の修理等  
補助率 2/3 限度額 1,000万円

【ソフト対策】歴史的町なみの保存、住民意識の高揚に資する住民活動等  
補助率 2/3 限度額 50万円

○「大洲市地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律施行細則」策定

○歴史的風致形成建造物の指定 21件

令和4年度 歴史的風致形成建造物指定一覧

指定番号	候補番号	文化財	景観重要建造物	建造物の名称	建造物の所在地
1	1	県指定史跡	R4.3.24指定	大洲城跡	大洲市大洲903
2	2	県指定有形文化財	R4.3.24指定	大洲城下台所	大洲市大洲891番地の1
3	4	国登録有形文化財	R4.3.24指定	旧加藤家住宅 主屋	大洲市大洲字三ノ丸848-1
4	5	市指定有形文化財	R4.3.24指定	旧松井家住宅(盤泉荘)	大洲市柚木317
5	6	市指定有形文化財		旧大洲商業銀行本店(おおず赤煉瓦館)	大洲市大洲60
6	7	市指定史跡		古学堂跡	大洲市阿蔵甲1843-1
7	8		R4.3.24指定	旧村上(長)家住宅①	大洲市大洲380
8	9		R4.3.24指定	旧村上(長)家住宅②	大洲市大洲379
9	10		R4.3.24指定	旧村上(長)家住宅③(篠原商店)	大洲市大洲378
10	11		R4.3.24指定	旧村上(長)家 蔵	大洲市大洲379
11	12		R5.2.28指定	旧島田家住宅	大洲市大洲31
12	14		R5.2.28指定	沖本家 倉庫	大洲市大洲103
13	19		R5.2.28指定	いづみや別館	大洲市大洲387
14	20		R5.2.28指定	旧村上家 土蔵	大洲市大洲388-2、390
15	21		R5.2.28指定	旧村上(長)家長屋(比地町の長屋)	大洲市大洲391ほか
16	28		R5.2.28指定	旧程野製糸場蔵倉庫(臥龍煉瓦倉庫)	大洲市大洲102-1
17	35		R5.2.28指定	旧村田家住宅	大洲市大洲261
18	37		R5.2.28指定	今岡家住宅①	大洲市大洲282
19	50		R5.2.28指定	今岡家住宅②	大洲市大洲282
20	45			旧中川家住宅	大洲市大洲252
21	46			伊東家住宅	大洲市大洲263

評価軸③-5  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
古民家再生事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～令和13年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 地方創生推進交付金		
計画に記載している内容	重点区域内にある古民家について、その建築物がもともと持っている外観と室内空間の良さを残しつつ、現代の暮らしとニーズにあった機能性・安全性を確保した改修等を支援し、保全及び活用を図る。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度において、民間3団体と大洲市で構成する「大洲市古民家再生推進協議会」を設立し、国土交通省の歴史的風致維持向上推進等調査の指定を受けて、再生候補物件2棟の詳細調査と改修案の作成を実施。  
 平成29年度は、町並みを形成する町家・古民家等の活用について、内閣府の「歴史的資源を活用した観光まちづくり連携推進室」から専門家派遣を受け、観光客等をターゲットにした宿泊、飲食等へのビジネス展開について検討・研究を実施。  
 平成30年度には町並みの保全を目的に『町家活用エリア計画』を策定している。  
 令和元年度から「街なみ環境整備事業」の採択を受け、市は、民間事業者(地域経済牽引事業者)と連携して、同事業者が実施する歴史的風致形成建造物指定候補物件のリノベーションに要する費用に対して補助金を交付。民間事業者による宿泊事業を主とした新たな観光産業を創出させることで、民間の経済活動により町並みが保全され、好循環の形成を図っている。  
 令和元年度～令和3年度までに24棟改修済み(令和元年度8棟、令和2年度10棟、令和3年度6棟)。令和4年度は4棟改修予定であったが、改修工事の際、躯体部分に想定以上の腐食が発見されたことで追加工事が必要となり、令和5年6月の完成となっている。改修が終われば合計で28棟の改修となる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地方創生戦略に基づき、官・民連携による町家・古民家の保全と活用に向けた体制が整備されたことで、計画的な事業推進による観光産業の発展と、そのことに伴う民間投資の促進が期待できる。

状況を示す写真や資料等

大洲市 町家・古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくり事業		R5.3.1時点 (単位:千円)								
計画	建物詳細/項目	①民間施行改修分(間接補助事業)			②市施工改修分(直接事業)		活用計画等			
		事業費計	民間投資	歴史性・耐震化分 市補助金	事業費計	国補助額	宿泊棟	部屋数	飲食店	雑貨等
1期 R1	浦岡邸:4棟 村会邸:3棟 いずみや別館:1棟 旧加藤家住宅(実施設計) 8棟	268,720	131,800	136,920	4,983	70,951	7	10	1	1
2期 R2	村上(長)邸蔵:2棟 村上(長)邸:長屋6棟 旧程野製糸場蔵倉庫:1棟 旧加藤家住宅:1棟 10棟	204,358	102,120	102,238	65,456	83,200	9	10	2	3
3期 R3	今岡邸:2棟 村田邸:1棟 伊東邸:1棟 山下邸:1棟 中川邸:1棟 6棟	267,180	119,452	147,728	0	73,864	6	8	2	3
4期 R4	磯崎邸:1棟 城戸邸:1棟 村上別邸1:1棟 村上別邸2:1棟 4棟	173,369	104,849	68,520	0	34,260	4	4	0	1
計画全体	全体:28棟 (内:町家27棟)	913,627	458,221	455,406	70,439	262,275	26	32	5	8



		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
郷土芸能保存会補助金事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成17年～令和13年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統ある郷土芸能保存団体が行う、郷土芸能の保存、継承及び後継者育成に係る活動について、必要に応じて学識経験者等の指導、助言を得ながら、これらの経費に対して補助金の交付を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統芸能を後世に保存継承するため、令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響下において、伝統芸能の継承、後継者育成活動を図った市内の伝統芸能保存団体(5団体:令和3年度6団体)に対して、保存継承及び後継者育成にかかる経費の一部に対して補助金を交付した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	伝統的な郷土芸能を後世に継承していくため各保存団体への活動支援のあり方や後継者育成、活動の継続が課題であるとともに、コロナ禍にあっても継承ができるよう各保存団体との協議が必要である。また、伝統文化の継承と後継者の育成が図れるよう、市民が伝統芸能にふれることのできる機会を増やしていく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
令和4年度補助金交付状況			
【新型コロナウイルスの影響を受けた保存団体】			
番号	補助金交付団体名 (文化財指定区分)	交付金額(円)	事業の内容
1	大谷文楽保存会 (県指定無形民俗文化財)	0	大谷地区で継承されている郷土芸能であるが、今年度もコロナ禍において祭りや発表会などが中止となったため、事業実施ができなかった。
2	上須戒相撲甚句保存会 (市指定無形民俗文化財)	0	上須戒地区で継承されている郷土芸能であるが、今年度もコロナ禍において祭りが中止となったため、事業実施ができなかった。
3	豊茂五ツ鹿踊り保存会 (市指定無形民俗文化財)	0	豊茂地区で継承されている郷土芸能であるが、今年度もコロナ禍において祭りが中止となったため、事業実施ができなかった。
合 計		0	
【新型コロナウイルスの影響を受けなかった保存団体】			
番号	補助金交付団体名 (文化財指定区分)	交付金額(円)	事業の内容
1	主馬神伝流保存会 (県指定無形文化財)	400,000	コロナ禍においても、小中学生への育成指導を行うことで、神伝流泳法の保存と後継者の育成を図ることができた。
2	藤縄神楽保存会 (県指定無形民俗文化財)	242,000	コロナ禍においても、地域の貴重な伝統芸能を後世に継承するため練習を行い、後継者の育成を図るとともに、傷んだ衣装の新調を行った。
3	山鳥坂鎮縄神楽保存会 (県指定無形民俗文化財)	64,000	コロナ禍においても、伝統文化の活性化と地域文化の振興を図るとともに、後継者育成を図った。
4	伊予長浜豊年踊り保存会 (市指定無形民俗文化財)	80,000	コロナ禍においても、地域の貴重な伝統芸能を後世に継承するとともに、後継者の育成を図った。
5	かわべ扇子踊り保存会	17,000	小学校の運動会などにおいて披露することで、「河辺扇子おどり」を後世に伝承するとともに、後継者の育成を図った。
合 計		803,000	

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化財の修理、防災について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の修理においては、十分な事前調査を行い関係法令・条例に基づく適切な修理・整備を行う。また、文化財の防災については、各地域の自主防災組織の育成を図るとともに、火災予防の啓発、消火訓練などを通じて火災発生を未然に防ぐ取り組みに努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●文化財の修理・整備について

- ・市指定史跡「古学堂跡」  
平成30年7月豪雨で被災した古学堂跡に残る文庫について、建物の破損が著しいことから保存修理工事を実施した。
- ・国名勝「臥龍山荘庭園」  
臥龍山荘庭園の維持・管理について、専門家の指導による植栽・庭園整備を実施した。今年度は、灯笼の据え直しや石段の敷き直し、不老庵周りの客土補充による地割修復などを実施した。
- ・市指定天然記念物「戒川三島神社社叢」  
戒川三島神社社叢について、枯れ枝の剪定及び支障木の伐採を実施し、社叢内の樹木整備を行った。

●文化財の防災

- ・指定文化財の防火・防犯対策  
また、「文化財防火デー」に合わせて、令和5年1月に市内の文化財建造物の消防用設備点検を行うとともに、消防署及び消防団による消火訓練を愛媛県指定有形文化財「麟鳳閣」で実施した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

文化財所有者、消防機関、市教育委員会が連携して総合的な防災計画を立てるとともに、定期的な消火訓練などを行うことで、文化財に対する防災意識の高揚を図るほか、防犯体制、損傷被害時の報告体制など、所有者の防犯強化を含めた注意喚起する必要がある。

状況を示す写真や資料等



古学堂跡文庫保存修理の様子  
(令和4年6月18日)



「臥龍山荘庭園」整備の様子  
(令和4年7月28日)



「戒川三島神社社叢」枯枝等整備事業の様子  
(令和5年1月16日)



消防署による市内指定文化財建造物の点検  
(令和5年1月23日)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化財の保存及び活用の普及・啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 市内に所在している文化財について、観光パンフレット等で積極的に紹介するほか、市のホームページにおける文化財情報の更新を図ることで新しい情報発信を行い、文化財の普及・啓発に努めるとともに、文化財をテーマとした学習講座や展示会、発掘調査の現地説明会などを積極的に開催することにより、市民が身近に文化財を感じられる機会の提供に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の保存及び活用の普及・啓発
  - ・文化財説明板の整備  
 令和4年度:文化財説明板4基新設  
 木造十一面観音立像(国重文)、備前焼大甕(県指定)、出海神社のイチョウ、横野の藤(以上、市指定)
  - ・市ホームページにおける文化財情報の更新  
 市ホームページにある「わがまちの文化財」において、広報大洲に連載した記事をもとに文化財情報の更新を図った。
  - ・「臥龍山荘庭園」国名勝指定記念シンポジウム  
 令和3年10月11日に国の名勝に指定された「臥龍山荘庭園」の指定記念シンポジウムを令和5年2月19日に開催した。参加者:90名
  - ・「臥龍山荘庭園」リーフレットの作成  
 国の名勝に指定された「臥龍山荘庭園」に関するリーフレットを作成するとともに、QRコードからWebページへアクセスできるように大洲市ホームページ内のリーフレットページの更新を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市内に所在する文化財は、山間部などアクセスルートが困難な場所に所在するものも数多くある。このため、文化財を巡る人々に対してわかりやすいアクセスルートの案内標識を整備する必要がある。また、文化財を身近に感じるために講演会等を随時開催していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



国重文「木造十一面観音立像」説明板整備



「臥龍山荘庭園」国名勝指定記念シンポジウム  
(令和5年2月19日)



HP用バナー



QRコード

臥龍山荘庭園リーフレットHP用Webデータ  
(令和5年2月24日)

評価軸④-3  
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
重点区域内での埋蔵文化財の取り扱いの強化		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 重点区域内にある「大洲城跡」では、周知の埋蔵文化財包蔵地以外の箇所でも新たな包蔵地の把握に努めるとともに、遺跡が確認された場合には包蔵地台帳への記載を進め、台帳の更新を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

昨年度までに石垣解体工事を終えた石垣A-2箇所では、今年度から積み直し工事に着手した。また、新たに石垣修理工事を予定している石垣B箇所では、石垣解体前の発掘調査を実施した。調査を行った石垣上の平坦部分では、江戸期の石組み溝や土塀の基礎などの遺構が検出されたほか、石垣が江戸期に2回修理された痕跡が確認された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	土地の買収等によって公有地化された場合は、継続的に試掘調査を実施し、遺構の残存状況を把握しながらデータを蓄積していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



元禄絵図にみる大洲城内の発掘調査地点



石垣A-2箇所と石垣B箇所の様子  
(令和5年2月2日)



石垣B箇所での発掘調査の様子  
(令和5年1月16日)



石垣A-2箇所での石垣積み直し工事の様子  
(令和5年2月15日)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化財の保存又は活用に関わっている住民、NPO法人、各種団体等の活動について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の保存又は活用に関わる各種団体について、活動への助成、活動に必要な情報の提供、団体間の相互連携の調整等の支援を行い、官民協働による活動の展開を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●文化財を活用した各種団体の活動  
 ・文化財ボランティア清掃活動 大洲城台所櫓・高蘭櫓(国重要文化財) 令和4年12月13日  
 ・寒中水泳大会 大洲神伝流泳法(県指定無形文化財) 令和5年1月9日 参加者:61名  
 ・雛飾り展示 旧末永家住宅百帖座敷(国登録有形文化財) 令和4年度:令和5年2月21日～3月下旬  
 ・おもてなしへんろ道ウォーク 伊予遍路道大寶寺道(歴史の道) 令和5年2月23日 参加者:17名

●伝統芸能団体等の活動や後継者育成支援(郷土芸能保存会補助金事業) ※進捗評価シートP8参照

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

市の全域に会員を有して活動する団体は少ない。活動に必要な情報提供や団体間の相互連携の調整等、団体の活動を支援するための方策を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



大洲史談会などによる大洲城のすず払い  
(令和4年12月13日)



肱川の如法寺河原で行われた「大洲市寒中水泳大会」で披露された大洲神伝流泳法の様子  
(令和5年1月9日)



旧末永家住宅百帖座敷を活用した雛飾り展示  
(令和5年3月4日)



伊予遍路道大寶寺道で行われた「おもてなしへんろ道ウォーク」  
(令和5年2月23日)

評価軸⑤-1  
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度 年月日	令和4年度 掲載紙等
城と桜 ゆったり水郷大洲市観光協 肱川で遊覧船 3日から「臥龍の渡し」も	R4.4.1	愛媛/読売
大きく育って 稚鮎放流漁解禁前 肱川に 33万5000匹	R4.4.20	愛媛
全壊の古学堂 再建へ西日本豪雨被害 愛媛・大洲の史跡	R4.4.22	毎日
鵜飼い開幕 復興の喜び大洲130人 水郷の風物詩満喫	R4.6.2	愛媛/読売/朝日
投げ網特訓 悪戦苦闘肱川漁協大洲支部 市民がアユ漁学ぶ	R4.6.8	愛媛
伊予銀行が大洲古学堂保存会に助成	R4.7.14	愛媛
伊予最古の図書館西日本豪雨で被災 大洲・古学堂 保存会へ伊予銀行が助成金	R4.7.27	日経
屋形船運航や夜城巡り愛媛・大洲	R4.7.28	日経/愛媛/読売/朝日
古式泳法 魅力を体験大洲 児童11人 見学や講習	R4.8.5	愛媛
戦禍伝える 赤橋の弾痕大洲の長浜大橋	R4.8.15	読売
赤れんが倉庫で乾杯！大洲 クラフトビール醸造所 好評	R4.8.17	愛媛
街中に客室点在 分散型ホテル町屋や古民家改修 周遊狙う	R4.8.23	朝日
ライブ 屋形船から堪能大洲・灯籠流しや花火も	R4.8.24	愛媛
城下町でクラフトビールを愛媛・大洲 醸造所 旅行の入り口に	R4.9.10	産経
屋根瓦に言葉を残そう西日本豪雨で全壊「古学堂」修復で 愛媛・大洲	R4.9.30	毎日
肱川あらしPRへ「新顔」高校生の「ゆう」さん加入	R4.9.30	愛媛
大洲「持続可能な観光地」県内初 国際認証機関世界100選に	R4.10.1	愛媛
夢や願い「古学堂」瓦に住民ら120人が書き記す	R4.10.6	愛媛
世界の持続可能な観光地 大洲市 初の選出建築遺産の再生 評価	R4.10.6	朝日
冬の足音「肱川あらし」 今季初観測大洲	R4.10.21	愛媛/朝日
大洲の「キタ・マネジメント」観光庁長官表彰を受賞	R4.10.28	愛媛
鵜飼い「復興元年」好感触大洲・肱川 3年ぶり通常営業	R4.10.29	愛媛
古式ゆかしく 伝統「お成り」大洲・八幡神社 3年ぶり「神幸祭」	R4.11.6	愛媛
肱川の景観 親しんで大洲でシンポ 保全の大切さ学ぶ	R4.11.20	愛媛
臥龍山荘庭園(大洲)えひめもみじ新聞	R4.11.25	愛媛
「境木」が遊具に変身大洲の畑 協力隊・中村さん制作	R4.12.17	愛媛
大洲市観光振興 国内外で評価	R4.12.25	愛媛
大洲盆地の雲海(大洲市)刻々と変幻する空の色	R5.1.3	愛媛
風光明媚 大洲の魅力活写河野さん作品23点展示	R5.1.5	愛媛
刀振り水しぶき大洲で寒中水泳大会	R5.1.10	読売/愛媛
長浜大橋(大洲市)現役最古の道路可動橋	R5.1.17	愛媛
豪雨で被害 修復進む私塾共有の宝 古学堂次代へ	R5.2.14	愛媛
聖地巡礼でまち並ぶ「すずめの戸締まり」登場 大洲&八幡浜 企画展開	R5.2.18	愛媛
臥龍山荘庭園 魅力深堀り大洲 名勝指定記念シンポ	R5.2.23	愛媛
肱南公民館建て替え レジャーと連携にぎわい施設に 25年度末完成目指す	R5.3.7	愛媛
大洲市 世界1位 持続可能な観光地100選 文化・伝統保存部門	R5.3.9	朝日・愛媛
ツイード服と自転車で大洲の名所散策 肱南地区でイベント	R5.3.15	愛媛
旧村上家住宅(大洲)国登録文化財に答申	R5.3.18	愛媛

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

コロナ禍から3年ぶりにイベント・行事が再開される中、「世界の持続可能な観光地2022年TOP100選」に選定され、また臥龍山荘庭園名勝指定記念シンポジウムの開催等、歴まち計画の成果や大洲市の歴史的風致が発信された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	報道機関に対し、大洲市の魅力や実施する事業の情報を積極的に提供し、住民の意識高揚や来訪者の関心を高める必要がある。

状況を示す写真や資料等



- 左から
- ・御神幸行列(お成り)
  - ・観光まちづくりシンポジウム
  - ・国指定名勝「臥龍山荘庭園」

評価軸⑥-1  
その他(効果等)

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

項目

「大洲市歴史的風致維持向上計画(第2期)」掲載事業の進捗状況

計画に記載している内容 (計画に記載なし)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

第2期計画に掲載している8事業のうち、第1期計画からの継続事業は、事業計画に基づいて引き続き実施した。また、新規3事業についても、円滑な事業推進に向け、制度整備、協議及び測量設計を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	1期計画の成果と課題を整理するとともに、関連計画との整合を取りながら2期計画を推進し、本市の歴史的風致の維持向上を図る。

計画掲載事業の実施状況

事業名	年度	「第1期」計画											「第2期」計画											備考
		24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13			
① 城山公園整備事業	計画	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
	実施	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
② 博物館施設整備事業	計画																							
	実施																							
③ 無電柱化事業	計画																							
	実施																						新規事業	
④ 動線環境整備事業	計画																							
	実施																						新規事業	
⑤ 民間建築物ファサード整備費補助事業	計画	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
	実施	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
⑥ 歴史的風致形成建造物保存対策事業	計画																							
	実施																						新規事業	
⑦ 古民家再生事業	計画																							
	実施																							
⑧ 郷土芸能保存会補助金事業	計画	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
	実施	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	

①城山公園整備事業



改修中の大洲城の石垣

⑦古民家再生事業



空き家となった古民家を改修活用した店舗・宿泊施設

⑧郷土芸能保存会補助金事業



県指定無形文化財「大洲神伝流泳法」

評価軸⑥-2  
その他(効果等)

項目		評価対象年度
官民連携で取り組んだ古民家改修事業に対する外部評価		令和4年度
計画に記載している内容	重点区域内にある古民家について、その建築物が元々持っている外観と室内空間の良さを残しつつ、現代の暮らしとニーズに合わせた機能性の向上、構造補強による安全性の向上を図った住宅・店舗への改修等を支援することにより、建物の保全及び活用を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付		
<p>世界の持続可能な観光地の国際認証団体の一つであるグリーンディステーションズより、まちなみ景観消滅の危機という地域課題に対し、自立・自走できる地域DMOを立ち上げて建物を観光産業に活用して残す取り組みにより、まちの経済循環と雇用創出を実現している点が持続可能な優れた取り組みとして評価された。</p> <p>令和4年9月 大洲市が世界の持続可能な観光地TOP100に選定。 令和5年3月「ザ グリーンディステーションズ ストーリーアワード」 「Culture &amp; Tradition(文化・伝統保存)」部門で、大洲市が世界1位に選ばれた。</p>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	今後も地域に残る歴史的な建造物等を保全活用しながら観光客を受け入れ、地域経済を活性化させることにより、地域の雇用の安定、収入獲得の機会を創出させる持続可能な観光まちづくりを進めていく。	
状況を示す写真や資料等		



グリーンディステーションズ サイトより



ドイツで開催された表彰式

評価対象年度	令和4年度
--------	-------

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 大洲市歴史的風致維持向上計画推進協議会

会議等の開催日時: 令和5年3月24日(金)

(コメントの概要)

- ・古民家改修事業は、活用に重点が置かれ、保存も検討はされているものの、やや欠ける部分が見受けられる。形を残さない改修に根拠・理由があるのか整理し、建物の元々の良さ、価値を活かしつつ改修を行い、それを見せていってほしい。
- ・郷土芸能は年月が経つにつれ徐々に形が変わってしまいがちである。映像で記録を残す等の対策も大切と考える。
- ・文化財や町家の改修時に現地説明会を開催し、特に子供たちへ歴史や先人の知恵を伝えて欲しい。
- ・地元出身の偉人生誕の地の案内板が整備されていない。行政が整備を行って欲しい。  
(→設置にあたっては、地権者の承諾や道路交通等の問題が生じる。地元歴史保存団体等と協力して整備を進めていきたい。)
- ・歴史的風致形成建造物保存対策事業の補助制度は、指定候補の所有者への周知だけではなく、候補物件を活用しようとする人も視野に入れて、広く周知をすること。

(今後の対応方針)

- 【持続的な保全環境】**  
文化財や歴史的風致形成建造物等の改修において、建物が持つ伝統的・文化的な価値を保全伝承できるよう努めるとともに、それらを生かした活用を図ることにより、新たな価値を創出し、持続的な保全環境を整えるものとする。
- 【面的な保全と環境整備】**  
また、これらを計画性をもって継続して実施していくことで、区域内の多くの歴史的風致形成建造物を保全と面的な環境整備により、これまで以上に歴史的風致の維持向上を図るものとする。
- 【ハードとソフトの相乗効果】**  
さらに、ハード事業の取り組みと並行して、現地説明会や研修会、シンポジウムの開催等による学びの場や、活用・体験の場を創出するなどソフト事業を効果的に組み込むことにより、ハード・ソフト両面の相乗効果も意識しながら歴史まちづくりを推進していくものとする。